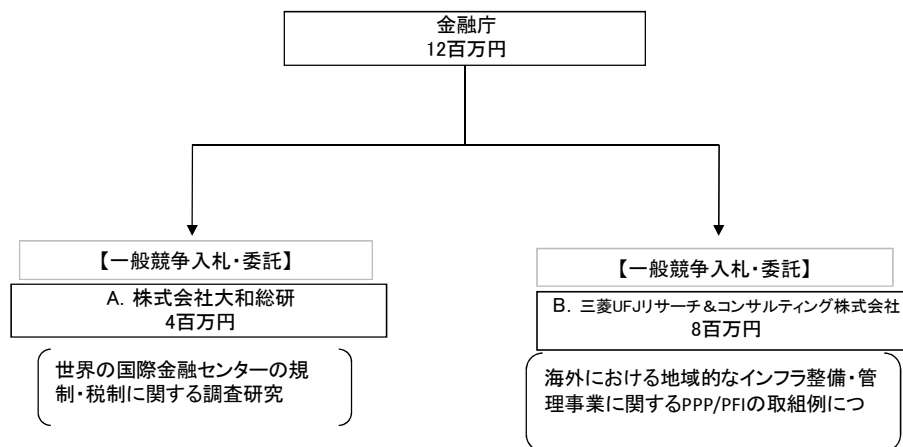


平成27年度行政事業レビューシート (金融庁)

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-------------------|---------|--|--|--------------|----------------|
| 事業名 | 国際金融センターとしての地位確立 | | | 担当部局庁 | 総務企画局 | 作成責任者 | |
| 事業開始年度 | 平成25年度 | 事業終了(予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 政策課 | 石田 諭 | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | 政策・施策名 | 政策Ⅳ… 横断的政策 施策3… 金融サービスの提供者に対する事業環境の整備 | | |
| 根拠法令(具体的な条項も記載) | | | | 関係する計画、通知等 | 「日本再興戦略」改訂2014(平成26年6月24日閣議決定) 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) | | |
| 主要政策・施策 | | | | 主要経費 | | | |
| 事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | ○国際金融センターとしての地位確立のため、我が国金融・資本市場の活性化を図る。 | | | | | | |
| 事業概要(5行程度以内。別添可) | ○世界の主要な国際金融センターについて、各市場の競争力向上のために政府が講じている諸施策及び金融インフラ等に係る調査研究の実施。(25年度、26年度、27年度) ○日本の金融・資本市場へのアクセス向上のための金融庁の英語発信力強化に係る体制の整備。(27年度) ○ヘルスケアリート等の普及促進に資するための調査研究の実施。(27年度) ○金融機関等との意見交換の会合(官民ラウンドテーブル等)における議論に資するための「我が国の金融・資本市場の競争力向上に向けた実態等の調査」の実施。(25年度、26年度、27年度) | | | | | | |
| 実施方法 | 委託・請負 | | | | | | |
| 予算額・執行額(単位:百万円) | | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度要求 |
| | 予算状況 | 当初予算 | - | 13 | 25 | 102.6 | 67.3 |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | - |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | - |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | - |
| | 計 | | 0 | 13 | 25 | 102.6 | 67.3 |
| | 執行額 | | - | 13 | 12 | - | - |
| 執行率(%) | | - | 100% | 48% | - | - | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 32年度 |
| | 世界銀行「ビジネス環境ランキング」(先進国) | 3位 | 成果実績 順位 | - | 19 | 19 | - |
| | | | 目標値 順位 | - | - | - | 3 |
| | | | 達成度 % | - | - | - | - |
| 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 我が国金融・資本市場の活性化のため、金融業が抱える様々な課題について実施した調査件数 | 活動実績 | 件数 | - | 2 | 2 | - |
| | | 当初見込み | 件数 | - | 1 | 2 | 3 |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | 執行額/調査件数 | 単位当たりコスト | 百万円 | - | 6.5 | 6 | 11 |
| | | 計算式 | 百万円/件 | - | 13/2 | 12/2 | 34/3 |
| 平成27・28年度予算内訳(単位:百万円) | 費目 | 27年度当初予算 | 28年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | 金融政策業務庁費 | 53 | 47 | ○ヘルスケアリート等の普及促進等に資するための調査研究費は27年度限りの経費のため、28年度における予算措置は不要(職員旅費:▲2百万円、諸謝金:▲10百万円)。 ○世界の主要国際金融センターについて、各市場の競争力向上のために政府が講じている諸施策及び金融インフラ等に係る調査研究等事業費を、調査研究対象の限定等により削減(諸謝金:▲4百万円)。 ○官民ラウンドテーブル(金融機関等との意見交換の会合)等に関して必要な経費は27年度限りの経費のため、28年度における予算措置は不要(諸謝金:▲11百万円)。 ○金融庁の英語発信力強化に係る翻訳等の費用について、対象を英語発信力の強化に特に資するものに限定することにより削減(金融政策業務庁費:▲6百万円)。 | | | |
| | 諸謝金 | 31 | 6 | | | | |
| | 非常勤職員手当 | 16 | 15 | | | | |
| | 職員旅費 | 2 | - | | | | |
| | 計 | 102 | 68 | | | | |

| 事業所管部局による点検・改善 | | | | | |
|---|---|--|---|--------|---|
| 項目 | | 評価 | 評価に関する説明 | | |
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 日本の金融・資本市場の活性化を目的としており、国民や社会のニーズを反映している。 | | |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 日本全体の金融・資本市場活性化を目的としており、国費投入の必要性の高い事業ある。 | | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 国の成長戦略に盛り込まれている事業であり、優先度の高い事業である。 | | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 支出先の選定にあたっては入札を実施するなど競争性が確保されている。 | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 支出先の選定にあたって一般競争入札を行っており、妥当である。 | | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | - | | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 費目・使途は事業目的に即し真に必要なものとなっている。 | | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | ○ | 不用が発生している主な要因は、支出先選定にあたって一般競争入札を行った結果、想定より安価な金額で委託調査が行われたものである。 | | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか | ○ | 政策の企画立案上重要なテーマを厳選し、委託調査を実施している。 | | | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか | ○ | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。 | | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものとなっている。 | | |
| 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 本事業の成果は調査実施課室のみならず、庁内関係課室と広く共有しており、金融・資本市場の活性化に資する政策の企画立案に活用している。 | | | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | - | | | |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | 事業名 | | |
| | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | <p>下記のとおり、国際金融センターとしての地位確立については、我が国の金融・資本市場の活性化を図るために重要なものであり、引き続き予算の確保が必要である。</p> <p>○「世界の主要な国際金融センターについて、各市場の競争力向上のために政府が講じている諸施策及び金融インフラ等に係る調査研究」として、『香港における金融ビジネスの立地競争力に関する調査研究』を実施した。調査研究の結果は「金融・資本市場活性化有識者会合」に報告され、得られた知見・示唆は、提言に盛り込まれる等、金融・資本市場の活性化に資する政策の企画・立案に活用されている。</p> <p>○「我が国の金融・資本市場の競争力向上に向けた実態等の調査」として『海外における地域的なインフラ整備・管理事業に関するPPP/PFIの取組例についての調査研究』を実施した。調査研究の結果は、官民ラウンドテーブル「民間資金を活用したインフラ整備等を促進するための金融面からの取組み」作業部会の議論に資すると共に、得られた知見・示唆は同作業部会の報告書に盛り込まれる等、金融・資本市場の活性化に資する政策の企画・立案に活用されている。</p> <p>○金融庁の英語発信力強化に係る体制の整備を推進し、対外公表物の概要の英語による公表や、英語による法令等に関する照会へのワンストップでの対応を実施することにより、日本の金融・資本市場へのアクセス向上に向けた取組みが進められている。</p> | | | |
| | 改善の方向性 | <p>○委託調査のテーマは関係課室とも協議・検討の上、引き続き政策の企画立案上、緊急性・重要性の高いテーマを選定して実施する。また、各経費に関する契約については、引き続き可能な限り一般競争入札を実施し、経費削減を図る。</p> <p>○日本の金融・資本市場へのアクセス向上に特に資する情報を選択して発信することにより、効率的に英語発信力を強化しつつ経費削減を図る。</p> | | | |
| 外部有識者の所見 | | | | | |
| (外部有識者点検対象外) | | | | | |
| 行政事業レビュー推進チームの所見 | | | | | |
| 現状通り | <p>○委託調査・研究の実施に係る経費については、わが国の金融・資本市場の活性化や競争力の向上に資する施策の企画・立案上重要であると認められるが、経費削減を図るため、一般競争入札を実施する際には可能な限り複数者から入札されるよう工夫をする必要がある。</p> <p>○金融庁の英語発信力強化に係る体制の整備に係る経費については、日本の金融・資本市場へのアクセスを向上させ、ビジネス環境を充実させることにより、国際金融センターとしての地位確立を図るために必要な経費と認められる。</p> | | | | |
| 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 | | | | | |
| 現状通り | <p>○委託調査・研究の実施に係る経費についても、わが国の金融・資本市場の活性化や競争力の向上に資する施策の企画・立案上重要であり、必要な経費と認められる。入札方法の工夫、適切な調査・研究対象の選択等により経費削減に努めつつ、引き続き必要な額を要求する。</p> <p>○金融庁の英語発信力強化に係る体制の整備に係る経費については、日本の金融・資本市場へのアクセスを向上させ、ビジネス環境を充実させるために必要な経費と認められる。この目的に資する情報を選択して英語で発信することにより、経費削減に努めつつ、引き続き必要な額を要求する。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |
| 『香港における金融ビジネスの立地競争力に関する調査研究』は下記ウェブサイトで公表。 < http://www.fsa.go.jp/common/about/research/20150304-1.html > | | | | | |
| 官民ラウンドテーブル「民間資金を活用したインフラ整備等を促進するための金融面からの取組み」作業部会の報告書は下記ウェブサイトで公表。 < http://www.fsa.go.jp/singi/kan-min/20150629.html > | | | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | | | |
| 平成22年度 | - | 平成23年度 | - | 平成24年度 | - |
| 平成25年度 | 6 | 平成26年度 | 6 | | |

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

| A.株式会社大和総研 | | | E. | | |
|----------------------------|---|-------------|----|----|-------------|
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| 諸謝金 | 世界の国際金融センターの規制・税制に関する調査研究 | 4 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 4 | 計 | | 0 |
| B.三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社 | | | F. | | |
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| 諸謝金 | 海外における地域的なインフラ整備・管理事業に関するPPP/PFIの取組例についての調査研究 | 8 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 8 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

支出先上位10者リスト

A.株式会社大和総研

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|----------|---------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 株式会社大和総研 | 世界の国際金融センターの規制・税制に関する調査研究 | 4 | 1 | - |

B.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|------------------------|---|--------------|------|-----|
| 1 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 | 海外における地域的なインフラ整備・管理事業に関するPPP/PFIの取組例についての調査研究 | 8 | 1 | - |